

便失禁専門外来のご案内

1. 当院の検査について

原因を正確に調べることが、適切な治療につながります。

便失禁にはさまざまな原因があります。

- ・ 加齢による肛門括約筋や骨盤底筋の機能低下
- ・ 出産や肛門・直腸の手術、放射線治療による肛門・直腸 機能の低下
- ・ 糖尿病や脊髄疾患などによる神経機能の低下
- ・ 直腸脱や直腸瘤などの骨盤底疾患
- ・ 便秘や下痢など排便習慣の異常

当院では、まず詳しい問診を行い、必要に応じてアンケートや排便日誌を用いて、現在の排便状況や症状の特徴を詳しく評価します。さらに、直腸診察に加え、直腸肛門内圧検査を行い、肛門や直腸の機能を客観的に評価します。当院では、最新の直腸肛門内圧測定装置を導入しています。

この検査では、

- ・ 安静時の肛門の締め具合
- ・ 肛門括約筋を締める力
- ・ 排便時の筋肉の動きや協調性 などを詳しく調べることが出来ます。

検査時間は約10～15分で体への負担も少ない検査です。

必要に応じて、大腸内視鏡検査やMRI検査などを追加し、便失禁の原因となる病気が隠れていないかを確認します。検査結果を総合的に評価し、一人ひとりに最適な治療をご提案いたします。

2. 治療について

便失禁の治療は、症状や原因に応じて段階的に行います。

① 保存的治療（生活指導・薬物療法）

まずは日常生活や排便習慣を見直すことから始めます。

- ・ 食事内容や排便習慣の改善
- ・ 排便コントロールの指導
- ・ 便の状態を整える薬物療法（整腸剤、止痢薬、下剤など）

軽症の方では、これらの治療だけで症状が改善することも少なくありません。

③ 仙骨神経刺激療法 (Sacral Neuromodulation : SNM)

保存的治療で十分な改善が得られない場合にご提案しています。仙骨部の神経を持続的に電気刺激することで、排便をコントロールする神経機能を改善し、便失禁症状の軽減を目指す治療です。

日本でも保険診療として認められており、適応を十分に評価したうえで治療をご案内いたします。

② 骨盤底筋訓練・バイオフィードバック療法

便を我慢するためには、肛門括約筋や骨盤底筋を正しく使うことが大切です。

骨盤底筋訓練では、これらの筋肉を効率よく鍛え、便を保持する力の向上を目指します。さらに、バイオフィードバック療法では、肛門の動きを画面で確認しながらトレーニングを行うことで、ご自身では分かりにくい筋肉の動きを「見える化」し、正しい力の入れ方を習得できます。

当院では、専門スタッフが患者さん一人ひとりに合わせて丁寧に指導し、継続的な訓練をサポートいたします。

④ 外科的治療

便失禁の原因として、直腸脱や直腸瘤、直腸腫瘍などの器質的疾患が見つかることがあります。

このような場合には、それぞれの病気に対する外科的治療をご提案いたします。

